

田沼街道コース

江戸時代、藩主田沼意次が拓いた相良までの七里の道のり。田沼街道終点からのコース。

①勝草橋公園 → [田沼街道終点] → ②田沼地下道 → ③新幹線高架を越えたら道なりに右折 → ④富士万商事右折 → ⑤土瑞橋 → [東名高速道路] → ⑥境橋(藤枝市との境) → 往復で⑦へ戻る



START GOAL

初代・勝草橋は明治8年(1876)11月に開橋しました。旧幕臣で書家であった伊佐新次郎孝禰が命名したと伝えられます。橋名の由来は、地名の志水が植物のシタに通じ、シタの具名を勝草と称することから、志水橋という意味で名付けたと言われていいます。

この道は自転車と歩行者しか通れない道になってます。すれ違う方が軽く会釈なんてのも、このコースのポイント箇所かもしれません。

田沼街道にはちゃんと歴史があるんだね。ふむふむ。

郵便鉄道は大正2年(1913)に織機鉄道として開業し、戦前までは織機大手と相良を結ぶ交通機関として利用されています。昭和18年(1943)に合併して静岡鉄道と改称し、昭和23年(1948)には中遠線と連結して、織機大手と袋井を結ぶ全長64.6キロの日本一長い郵便鉄道(静岡鉄道駿遠線)となりました。昭和45年(1970)7月に廃線となりました。

田沼街道は瀬戸川西岸、勝草橋の狭く東海道から分岐して、大井川の下流を渡って相良の城下町まで延びる全長28キロの街道です。別に相良街道ともいいます。宝暦9年(1759)に相良藩主となった田沼意次が相良築城と合わせて整備したと伝えられていますが、意次がお入りの際通行したのは1度だけと言われています。田沼侯の居急に浴した沿道の人々により、田沼街道と呼びならさわれてきました。明治以降に道筋が変更されたため、街道もとの姿はほとんど失われてしまっています。



② 田沼地下道

歩道橋を渡って下さいね。

線路の下を豪快に走る田沼地下道。車の往來が激しいですが歩道は完全に分かれていて安全です。

③ 新幹線高架を越えたら道なりに右折

新幹線高架を越るとすぐの二股道。間違いないく進むには、右側通行。これすなわち日本の道のルール。

昔からあるような文具屋さん、酒屋さん、床屋さん、スーパーなどが立ち並びます。さて!この道のどこかに2つの赤い鳥居と赤く塗られた社があるよ!探せるかな?

床屋さんのレトロな看板が奥に入ったわ☆

④ 富士万商事右折

⑤ 土瑞橋

田んぼが広がります。

結構広い橋。周りの土手には懐かしさを感じます。

⑥ 境橋(大井川町との境)

境川は駿河と遠江の境を流れているので、田沼街道に架かる橋を昔から境橋と呼んでるんです。



コースデータ

距離/約11km(往復) 所要時間/約2.5時間 消費カロリー/約360kcal 途中休憩場所、トイレあり

勝草橋公園へのアクセス

バス/JR 藤枝駅より中部国道線静岡行きに乗り、「勝草橋」下車。

車/国道1号青木五叉路より、北へ約5分。

ウォーキングアドバイス

相良の秋間川の渡橋を起点として、藤枝市内の瀬戸川西袂を終点とした、約七里(28km)の道のりの市内のみのコース。歴史に触れるという折りは、現代の道や橋を足で改めて歩きたい、南北に藤枝を縦断するロングコース。

※これは、イラストです。あくまでもイメージ図なので、実際の距離とは異なります。また、消費カロリーも年齢や性別、体格により異なります。目安としてお使い下さい。